■ 河合塾テキスト「高３ 共通テスト対策地理〈2026年 ２学期〉」演習問題 解説 ■

【第15講（第２講）】

解答番号	正解	解　説	重要度
1	③	モンスーン（季節風）や気圧帯の季節移動による降水量の季節変化の面から考える。③ ヤンゴン。モンスーンは高日季（夏季）には海洋からの湿潤風となり雨季，低日季（冬季）には大陸からの乾燥風となり乾季となる。また，赤道より北側に位置するため，６～８月頃は熱帯収束帯（赤道低圧帯）が北上する影響もあり降水量が多くなる。① ジャカルタ。ジャワ島の北側に位置するため，高日季には南から吹くモンスーンに対して南に位置する山脈の風下側にあたり乾季，低日季には北から吹くモンスーンに対して南に位置する山脈の風上側にあたり雨季となる。また，赤道より南側に位置するため，12 ～２月頃は熱帯収束帯が南下する影響もあり降水量が多くなる。② シンガポール。赤道直下に位置するため，年中，熱帯収束帯の影響を受け降水量が多い。④ カラチ。北回帰線付近の大陸西岸に位置するため，年中，亜熱帯高圧帯（中緯度高圧帯）の影響を受け降水量が少ない。また，モンスーンが卓越する地域からやや外れ，その影響がおよびにくい地点でもある。	★★★
2	①	① タイ。世界第２位の米の輸出国であるため，米の輸出量が最も多く穀物自給率も非常に高い。② ベトナム。世界第５位の米の生産国，世界第３位の米の輸出国であるため，表中２番目に米の生産量，輸出量が多い。③ インドネシア。世界第４位の米の生産国であるため，表中では最も米の生産量が多い。人口はおよそ２億８千万人を有し国内消費量が多いため，穀物自給率は 100 %を下回り，米の輸出量も非常に少ない。④ フィリピン。米の生産量は表中最も少ない。とくに南部では，バナナ，ココやし，さとうきびなどのプランテーション作物の栽培がさかんである。	★★
3	②	② 誤文。シンガポールでは，中国語，マレー語，タミル語，英語の４言語が公用語となっている。① 正文。インドではヒンドゥー教徒が約８割を占める。③ 正文。ベトナムはかつてフランスの植民地であり，生活習慣や街並みにその影響が残っている。④ 正文。マレー人の経済的・社会的地位の向上をはかるため，あらゆる面でマレー人を優遇するブミプトラ政策がとられている。	★★